

未来の環境を、北海道下川町と戸塚区から。

北海道下川町と戸塚区川上地区の交流をきっかけに、2011(平成23)年に下川町・戸塚区・川上地区で友好交流協定を締結してから、今年の8月で15周年を迎えます。下川町と横浜市はともに「SDGs未来都市(※)」。
※地方創生SDGsの達成に向け、優れた持続可能な開発目標(SDGs)の取組を提案し、日本政府による選定を受けた自治体のこと



すぐにできる環境にやさしいこと

12 つくる責任
つかう責任

∞

食品ロス編

- 冷蔵庫を整理整頓する**
冷蔵庫を整理整頓すると、使い忘れなどによる廃棄防止に。食品のパッケージに期限を大きく書いておくのも◎
- フードドライブを活用する**
家庭にある未使用食品を寄付できます。
詳しくはこちら▼



🔍 フードドライブ 横浜市 検索

13 気候変動に
具体的な対策を

🌍

節電・省エネ編

- 暖房(エアコン)の設定温度は20℃を目安に!**
風向きは「下」にし、床面から温めましょう。サーキュレーターを併用した空気の循環も有効。
- 暖房付きの便座はふたを閉めよう**
ふたを閉めることで節電効果があります。設定温度も季節に合わせてこまめに調節することも大切。



12 つくる責任
つかう責任

∞

リサイクル編

- 区役所で衣類の回収を行っています**
回収した衣類はGREEN×EXPO 2027横浜市出展施設のスタッフユニフォームに再生します。
回収期間:3月31日まで
所 区役所9階95番窓口前
※濡れたもの、破れたもの、汚れたものは回収対象外

📄 本紙16ページもチェック!



SHIMOKAWA

◀下川町の職員

下川町では豊かな森林資源をあますことなく大切に利用しながら、持続可能な社会づくりに取り組んでいます。未来の環境を守るために、日常の中でできることから一緒に取り組んでいきましょう!

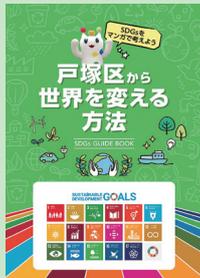


ほかに利用法がない木材を木質バイオマスボイラーの燃料として有効活用

SDGsを学ぶ



区役所の環境パネル展やSDGsパネル展で、環境問題の対策や、下川町の取組を紹介!



戸塚区SDGs普及啓発冊子「戸塚区から世界を変える方法」



下川町イメージキャラクター「しもりん」

教えて!

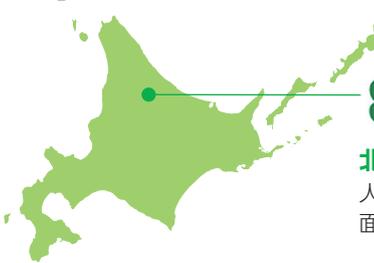
下川町との友好交流の話。



TOTSUKA



下川町って どういうところ?



北海道・下川町

人口:2,803人(2025.8.1時点)
面積:644.54km²
(横浜市の約1.5倍相当)
気候:夏30℃、冬-30℃
産業:農業、林業
特産品:トマトジュース
手延べそうめんなど



下川町は北海道の北部に位置し、町の面積のうち、約90%が森林という緑豊かで美しい自然に恵まれた地域です。森林資源を活用した地球温暖化対策などの取組を積極的に進め注目されており、横浜市と同じくSDGs未来都市に選定されています。



友好交流ってなにをしているの?

友好交流協定締結以降、戸塚区と下川町は異なる自然環境の下、相互に学び、多方面でさまざまな取組を積極的に進めています。

地域・行政間の交流



区内イベントに下川町ブースが出展



夏から秋は下川町の子どもたちが戸塚区川上地区へ、冬は川上地区の子どもたちが下川町を訪れ、相互に交流を深めています



「戸塚ふれあい区民まつり」で下川町産木材を使ったワークショップや特産品販売を実施



区内保育園でも下川町産木材を使ったワークショップで木の大切さを伝えています



戸塚区産の浜なしと下川町産の小麦を使用した特別なビール「浜なしウィートエール」づくり

毎年10月頃、横浜ビール株式会社から発売!

